○○御中

アイデアボックス2.0のご紹介

自治体様向け

自動処理 automation.jp

2021.1

アイデアボックスとは？

内閣官房デジタル担当にも採用されている、政府・自治体に特化した

国民と行政を直接つなぐ、意見募集プラットフォーム

内閣官房
Cabinet Secretariat

デジタル改革アイデアボックス

瀬戸の都 高松

たかまつアイデアFACTORY（高松市）

三重県 Mie Prefectural Government

みえDXアイデアボックス（三重県）

Global E-Participation Workshopにて

2022年1月11日デジタル庁が国連で行ったGlobal E-Participation Workshopの資料に弊社のアイデアボックスが日本政府において、10年以上の実績があり、市民参加の重要な役割を果たしたことが紹介されました。

Digital Agency
Japan

Lessons learned in E-Participation and Leaving No One Behind

Digital innovation ideabox (Open dialogue service for citizens)

Phase1 2020-10-09 / 2021-10-11	
Registered users	7,327
Ideas	7,911
Comments	37,985
Votes	68,874
Viewers	500,000
PV	2,500,000

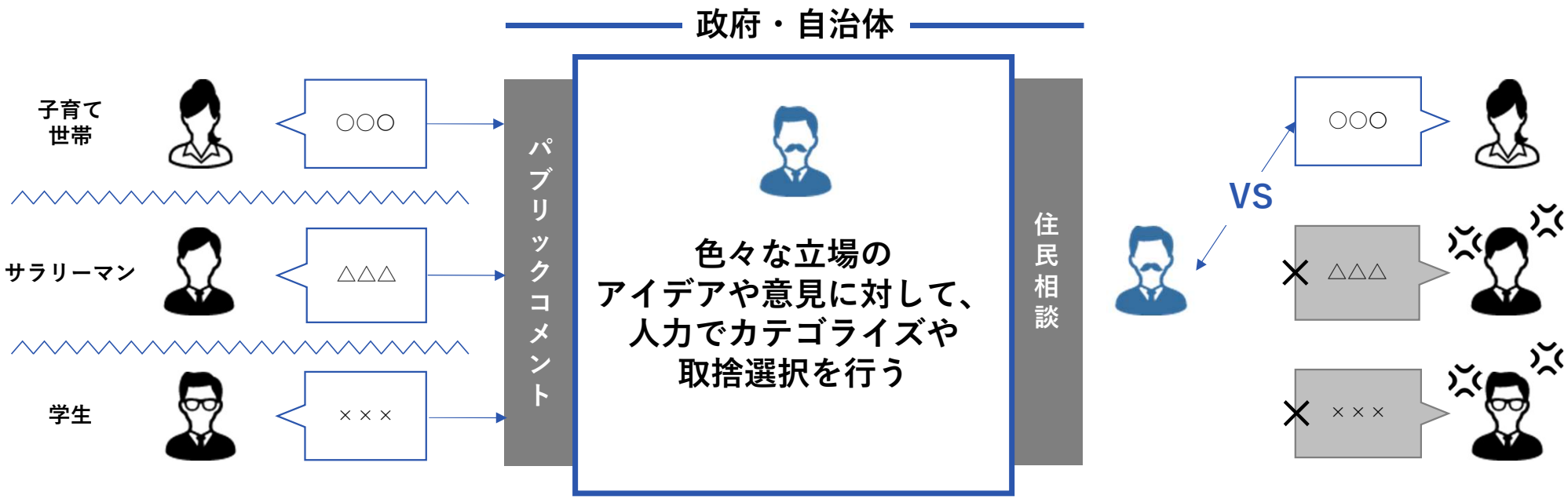
Face-to-face meetings between the minister and participants

- Service ideas for the digital society
- Requests for a new agency
- Solutions for the digital public services
- Barrier of the digital society
- Advice to the government strategy

Top management commitment is important for e-Participation.

よくあるケース

行政が国民に意見やアイデアを求めたり、相談窓口で相談を受け付けると、様々な立場の人から意見が集まるが、
意見の数も少なく、一方的な意見になりがち。限られた行政資産を活用し、
応えていくことになるため、結果として**一部の意見に偏った対応になってしまう。**



意見は交わることなく、一方的に　　限られた対応しかできない　　一部対応しかできず、国民は不満に

既存の意見募集方法が抱えている課題

多くの政府や自治体で、

意見のバラつき、意見に対する対応への不満、意見が集まりにくい

が課題となっている

一方的な意見

⋮

互いの意見が見えず、議論されない事で各立場の一方的な意見になってしまう

前向きな議論にならない

⋮

意見を聞く行政と、意見を言う国民とで対立構造になってしまい、同じ課題に対して、前向きに議論が出来ない。

意見が少ない

⋮

そもそも、なかなか意見やアイデアが集まりにくい

アイデアボックスの利用イメージ

国民が自ら**困っている事を提案**、**解決**し、**優先順位をつける**事で、

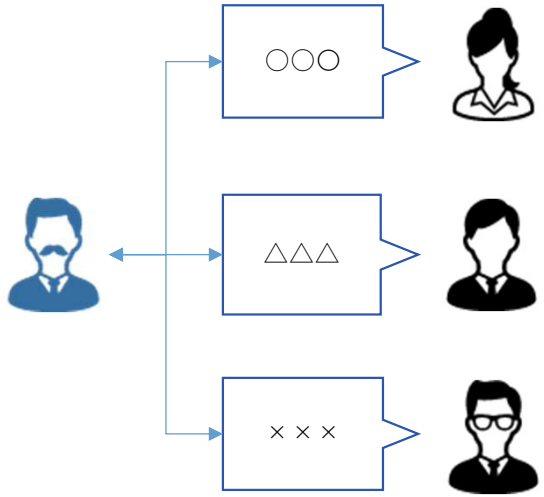
行政や政治が今何をすべきかを可視化する。システムにより様々な角度から

アイデアを分析することで、**中立公正な対応が可能です。**

政府・自治体　アイデアボックス

一つのアイデアに対して意見交換が発生し
ブラッシュアップ

集まったアイデアを効率的に分析



最終的に満足度が高い対応が可能

アイデアボックスで実現できること

アイデアボックスを活用することで、これまでの顕在化していた課題がクリアになり、

国民と行政が直接つながることのできる環境が実現できるようになります。

これまで	一方的な意見	前向きな議論にならない	意見が集まりにくい
アイデアボックス	意見交換からアイデアもバランスの取れたアイデアに発展	国民と行政・政治が一緒に課題と向き合う事が出来る	投票やコメントなどで意見の発信が活性化

アイデアボックス　画面イメージ

①アイデアを投稿する

②アイデアにコメントする

③アイデアに投票する

その他類似投稿の表示や、
賛成票の多い順序の表示機能、
検索機能によりアイディアを集約

2021年12月末よりアイデアボックスはバージョン２に移行しました。

バージョン２では

・アイデアを見やすく

・コメントしやすく

・投票もしやすい

・政策実施もしやすい

というコンセプトで
全面刷新を行っています。

アイデアボックス1.0と2.0の違い
デザインの全面的な刷新

アイデアボックス2.0

アイデアボックス1.0はアイデア募集のページにもかかわらず、アイデアがトップページで読めないデザインになっていました。

アイデアボックス2.0はトップページにアイデアを並べ、**アイデアが中心となるデザインに変更**しました。

アイデアボックス1.0

アイデアボックス1.0と2.0の違い
進捗表示機能の追加

アイデアボックス2.0

アイデアボックス1.0は投稿されたアイデアがその後どうなったのか表示する機能がありませんでした。

アイデアボックス2.0は、その後、アイデアがどう扱われたのか、**進捗を表示**出来るようになりました。

また解決策が思いつかない方でも、**悩み・困りごと**から投稿する事が出来る事で、アイデア投稿がしやすいように変更しました。

アイデアボックス1.0

アイデアボックス1.0と2.0の違い
投稿アイデア支援機能

アイデアボックス2.0

アイデアボックス1.0は意見を募集する部署の方が直接意見を政策化する想定で作られていました。

アイデアボックス2.0は課題を中心に支援してくれる別の部署の仲間を探す為、支援すると立候補する機能が追加されました。

アイデアボックス1.0

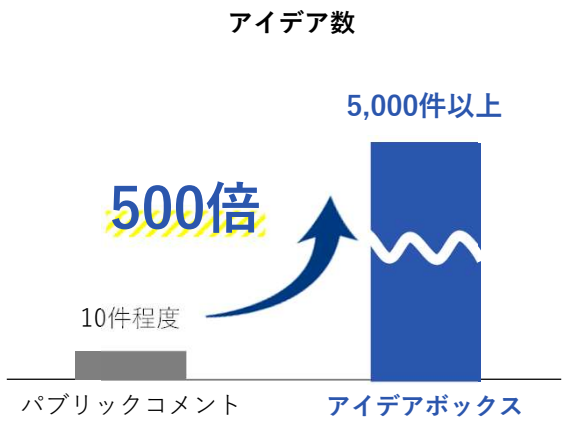
アイデアボックス導入による結果（事例）

内閣官房で活用いただいた際には、

意見募集への**積極的な参加**と**信頼感の獲得**につながった。

投稿された応募数が大幅に増加

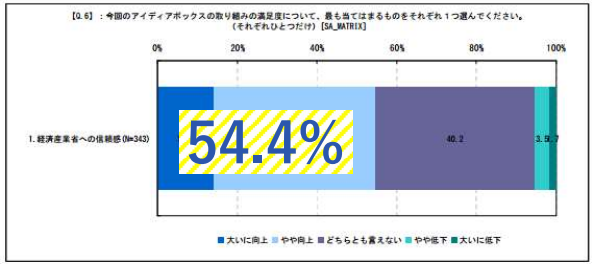
✓ **登録者：4,753名　アイデア：5,051件　コメント：16,135件**



参加者の半数以上が行政への信頼感が向上

✓ **参加者の54%の人が「大いに向上」or「やや向上」**

- 経済産業省への信頼感については、「大いに向上」、「やや向上」が合わせて 54.5%、どちらとも言えないが 40.2%、「大いに低下」、「やや低下」が合わせて 5.2%であった。



全国の最大10自治体を対象に、3か月間アイデアボックスを無償提供します。

プレスリリース

スマートシティ・DX化・官民協働・リモートワーク推進！デジタル庁でも採用された意見募集プラットフォーム『アイデアボックス2.0』リリースを発表します。

2022年1月6日

株式会社自動処理（東京都中央区、代表取締役：高木 祐介、以下「当社」））は、デジタル庁にも採用されたことで話題の意見募集プラットフォーム『アイデアボックス2.0』のリリースを発表します。2022年3月まではどんな団体様に向けても先着10団体に対して、3か月間無償提供を実施しています。

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000020.000067480.html

導入費用について

要件のヒアリングをした担当が一気通貫でシステム構築およびカスタマイズまで行う。
そのため的確かつスピーディに運用開始までサポート。

STEP1	STEP2	STEP3	STEP4
お問い合わせ	要件 ヒアリング ※オンライン会議で実施いたします	カスタマイズ	運用開始
まずはお気軽に お問い合わせください	課題解決のための 要件定義をします	各自治体向けに 最適化します	運用開始後も 活用サポートを実施

ヒアリング担当者が開発まで一気通貫で対応

導入費用について

期間限定のキャンペーンを実施中。通常価格と比べてイニシャルコストを抑えながら、
3ヶ月という期間で十分なアイデア募集とブラッシュアップが可能。

3か月間無償提供を募集中。
（2022年3月まで新着10団体）

				3か月合計
通常				75万円
期間限定キャンペーン	運用管理費 15万円※ 初期構築費 0万円	運用管理費 15万円	運用管理費 15万円	45万円

※3ヶ月以上のご契約が必要

※初月の運用管理費は日割りで発生いたします。

運用支援オプション

各種運用体制等についての支援を行うオプションもサービスも実施しております。

- 問い合わせ一次受付　・・・　10万円 / 月間
- 不適切投稿ブロック機能　・・・　3万円 / 月間
- 広報支援オプション　・・・　3万円～ / 月間
- 問い合わせ運用マニュアル作成　・・・　都度見積もり
- アイデア取りまとめ　・・・　都度見積もり
- オフラインイベント開催　・・・　都度見積もり
- 新機能開発　・・・　都度見積もり

など

お問い合わせ先

ご質問、ご相談ございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社自動処理　アイデアボックス担当宛

info@automation.jp

会社概要および取引先実績

社名　：株式会社自動処理

創業　：2010年5月19日

資本金　：1,000,000円

住所　：〒104-0054　東京都中央区勝どき2-4-12

代表　：高木祐介

事業内容　：経営コンサルタント業

受託開発ソフトウェア業

オープンデータコンサルティング

APIコンサルティング

問い合わせ　：info@automation.jp

HP　：http://automation.jp/

関連団体　：Code For japan

オープンビジネスソフトウェア協会

Open Knowledge Foudation Japan

代表紹介

高木 祐介　（たかぎ ゆうすけ）
株式会社自動処理　代表取締役社長

中小SIerにてERPパッケージの開発要員を経て、大手ヘッドハンティング会社で情報システム部門立ち上げ、新規事業立ち上げ、業務効率化、コスト削減など稼げるシステム担当として、業務を行う。2010年1月に理事として一般社団法人オープンビジネスソフトウェア協会を設立。2010年5月に株式会社自動処理を設立。近年は行政における国内のオープンガバメントや、震災復興に関連するプロジェクトのシステム企画、開発にマネージャとして携わっており、経験・実績を多数有している。

主な実績(一部抜粋)

共通語彙基盤ワーキンググループ　ステアリングコミッティ(2018、IPA)
ビッグデータを活用した新指標開発事業(2017、経済産業省)
政府機関におけるWebサイトを中核とした情報提供方法の最適化に関する調査(2017、内閣官房)
政府CIOポータルサイトのサービス提供と運用及び保守業務(2016、内閣官房)

取引先実績（政府・自治体・行政機関）

首相官邸 Prime Minister of Japan and His Cabinet
経済産業省
CHIBA
浪江町
内閣府 Cabinet Office, Government of Japan
行政刷新
国土交通省 観光庁
国立保健医療科学院 National Institute of Public Health
内閣官房 Cabinet Secretariat
文部科学省
GraSPP THE UNIVERSITY OF TOKYO
東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO
国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
IPA
東京大学公共政策大学院 Graduate School of Public Policy